TOSHIBA
Leading Innovation

東芝白熱灯器具取扱説明書

保管用

●このたびは東芝照明器具をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
●正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
●照明器具の電気工事は、主任電気工事士の管理が義務付けられています。

■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

●工事店様へ

工事が終了しましたら、この説明書は必ず客様へお渡しください。

Hi-マルチセンサー付照明器具

1. 人感センサーが人の動きをキャッチして自動的に点灯する機能を持っています。
2. 照度センサーを内蔵していますので、周囲が明るい時は点灯しないように設定できます。
3. 暗くなってからの点灯方法が選べます。
   ・消灯で待機。人が近づくと全光点灯します。
   ・調光点灯で待機。人が近づくと全光点灯します。
   ・調光点灯で6時間待機。6時間後は消灯で待機。人が近づくと全光点灯します。
4. 人感センサーを切って、照度センサーとしても使用できます。
5. 壁スイッチの操作で連続点灯させることができます。緑色の表示灯が点灯します。

事前にご確認ください。

(2ページの「■器具を取り付ける前に」をご確認ください。)
●必ず壁スイッチのあるところに取り付けてください。
●1つの壁スイッチには1台でご使用ください。
(1つの壁スイッチで2台以上の器具を取り付けると、同時に連続点灯に切り替わらない場合があります。)
●調光器のついている回路ではご使用になれません。
●表示灯付スイッチと組み合わせる場合は弊社製品をご使用ください。(弊社商品名:オフピカスイッチ)
他社製表示灯スイッチとの組み合わせはできません。誤動作の原因となります。

⚠ 警 告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

●器具の取り付けは、本体表示並びに取扱説明書に従い行ってください。
取り付けに不備があると器具落下、感電、火災等の原因となります。
●電源接続の際は、取扱説明書に従ってください。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災の原因となります。
●施工時において絶縁体にナイフ等のキズが付いた状態で通電されますと、絶縁破壊が生じ電線が焼損する原因となります。
●器具の取り付けには方向性があります。本体表示並びに取扱説明書に従ってください。指定以外の取り付けを行うと器具の落下、感電、火災の原因となります。
●調光器(当社商品名コントルクスなど)による調光使用はできません。調光器が取り付けられている配線でご使用になりますと短寿命の原因となります。

取り付け

●アース工事は電気設備技術基準に従い確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。(D種(第三種)接地工事)

アース工事

●この器具は海上や臨海部などの重塩害地、沿岸部の塩害地には使用できません。早期の錆発生、器具落下の原因となります。
●この器具は腐食性ガス雰囲気の場所では使用できません。
変質、変色、絶縁不良、器具落下の原因となります。
●この器具は激しい震動・衝撃の加わる可能性のある場所、常時振動のある場所には使用できません。
絶縁不良、器具落下の原因となります。

使用環境

●器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。
落下、感電、火災の原因となります。

改造

⚠ 注 意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

●交流100V正弦波以外の電圧で使用しないでください。
上記以外の電圧を加えると、器具やランプの寿命が短くなったり、過熱による火災の原因となります。

電源電圧

●周囲温度が35℃を超える場所では使用しないでください。
点灯不良や火災の原因となります。
●風速60m/秒を超える場所では使用しないでください。
落下の原因となります。

●人がぶら下がったり、踏みつけたり、引張ったり、押したりするような場所には取り付けないでください。
落下や破損の原因となります。
●十分な強度のある面に取り付けてください。
落下の原因となります。
●樹脂系の塗料で塗装された壁などに取り付けますと、雨じみが発生する場合があります。
●器具に1mを超える積雪の可能性がある場所には使用しないでください。器具落下の原因となります。
(使用する場合は必ず除雪を行ってください。)

使用環境

●お客様へ　使用上のご注意

●お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。

⚠ 警 告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

●ランプ交換やお手入れの際は、取扱説明書に従って行ってください。
落下、感電、火災の原因となります。
●ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。
感電の原因となります。
●ランプ交換の際は、必ず本体表示並びに取扱説明書の適合ランプを使用してください。適合ランプ以外を使用すると過熱による器具の変形、変色、火災の原因となります。

●ランプ交換等によりグローブやランプをはずし、再度取り付ける場合には、取扱説明書に従ってください。
取り付けに不備がありますと、水・水気の浸入による絶縁不良、感電、グローブやランプの落下の原因となります。

ランプ交換

⚠ 注 意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

●点灯中及び消灯直後(約20分)は、器具及びランプが高温になっておりますので、手を触れないでください。
やけどの原因となります。

高温

●金属部分をクレンザーやたわしで磨かないでください。
傷をつけたり腐食の原因となります。
●ランプ等の樹脂部品には洗剤や薬品等を使用しないでください。部品の劣化の原因となります。

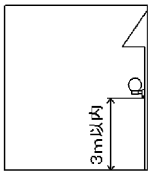
保守

■器具を取り付ける前に

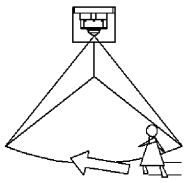
■必ず壁スイッチのあるところに取り付けてください。
■1つの壁スイッチには1台でご使用ください。(1つの壁スイッチで2台以上の器具を取り付けると、同時に連続点灯に切り替わらない場合があります。)
■調光器のついている回路ではご使用になれません。
■器具の性能を確保するため、設置場所は十分検討の上決定してください。

人感センサースイッチの検知エリアを考慮して器具を設置してください。

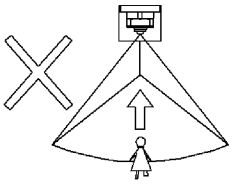
●高さ3m以内に設置してください。



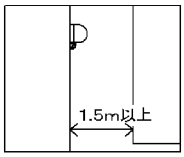
●センサーの特性上、図の様に検知エリアを人が横切る位置に設置しますと、センサーの人体検知の信頼性がより向上します。



●センサーに向かって人が近づくような位置に器具を設置すると、器具のごく近くまで人が近づかないと検知しない場合があります。



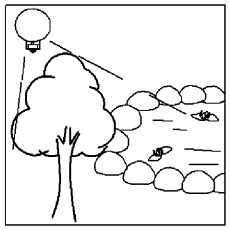
●器具本体から出た光の反射によって起こる自己点滅を防ぐため、白壁から1.5m以上離して取り付けるかもしくは人感センサー検知部の方向を調整してください。



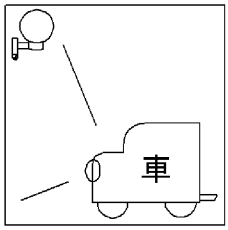
■雨や雪などをセンサーが検知してランプが点灯する場合がありますが、故障ではありません。

■次のような場所には取り付けないでください。(検知しなかったり、誤動作、故障の原因になります。)

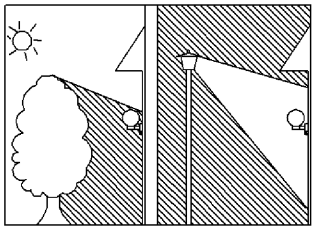
検知エリア内に木や池の水面などがあり、風でこれらのものが動く場所へはお避けください。



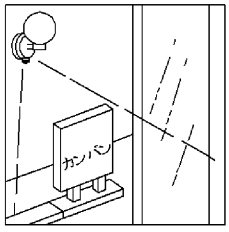
車のヘッドライトが直接当たる場所への取り付けはお避けください。



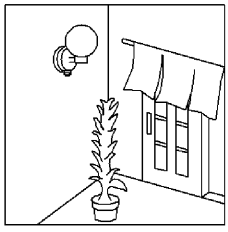
昼間でも暗い場所や、夜間でも明るい場所。(取付環境により照度レベルが変わり、誤動作等が考えられます。)



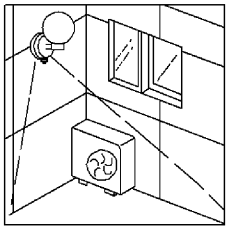
前面に障害物のある場所。
(透明なガラスでも遮断されます。)



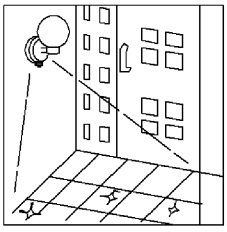
風などでよくゆれるのれんや植物などがある場所。



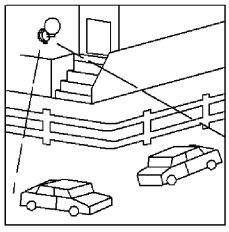
エアコンなどの排気口の近く。
排気口に対向する場所。



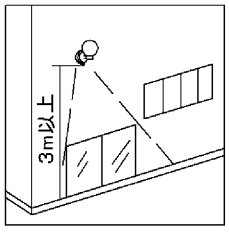
大理石など反射の強い床面のある場所。



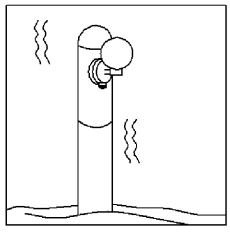
検知エリア内に交通量の多い道路がある場所。



取付高さが3m以上になる場所。

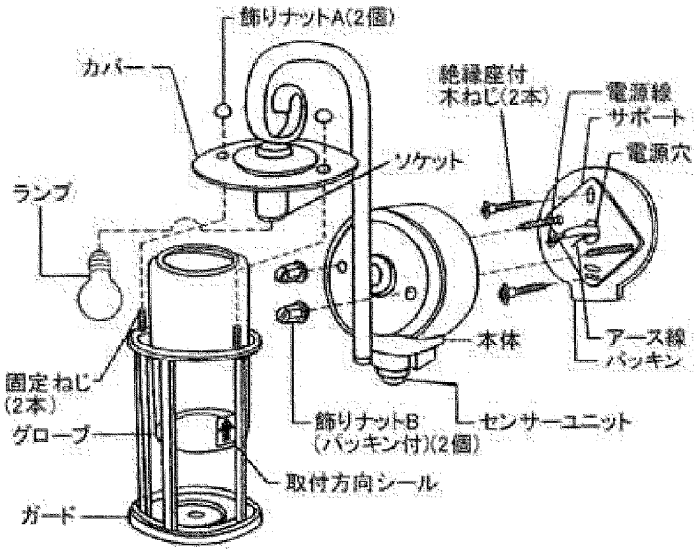


振動の激しいポールなど、不安定な場所。



■器具の取り付けかた　※器具取り付けの際は必ず電源を切ってください。

防雨形
壁面取付専用
屋外用



取付距離をご確認ください

器具周囲面より0.1m以上離して取り付けてください。
器具の下側にはなにも無いようにしてください。
センサーの検知エリアに影響します。

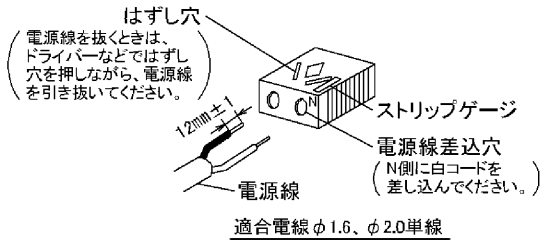


図-1　SL端子台

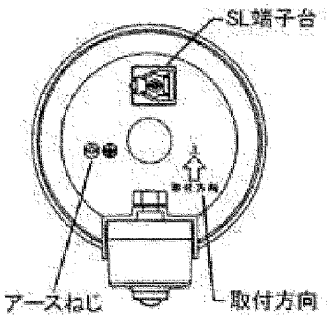
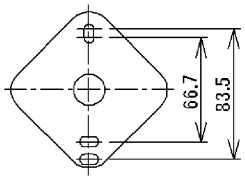


図-2　本体内面



サポート取付ピッチ

1. 器具を取り付ける前に、飾りナットA(2個)をはずし、カバーからガードおよびグローブをはずしてください。
飾りナットB(パッキン付)(2個)をはずし、本体からサポートをはずしてください。
2. サポートを取り付けてください。
パッキンとサポートの中央電源穴に電源線とアース線を通してから、取付方向に従って付属の絶縁座付木ねじ(2本)でサポートを取付面にしっかりと取り付けてください。

⚠警　告

器具の取り付けには方向性があります。
本体表示に従い行ってください。
指定方向以外の取り付けを行うと、
落下・感電・火災の原因となります。

⚠警　告

落下してけが・感電・火災のおそれあり
指定の方向以外の取付禁止

⬆
矢印を上にして取付

⚠注　意

取り付けの際は取付面の凹凸を調べて平滑な所に取り付けてください。また、電源穴を内側よりコーキングしてください。造営物によってはポリ台・木台を使用してください。取り付けが不十分ですと、湿気・水気の浸入による絶縁不良・感電の原因となります。

3. 電源線を結線してください。
SL端子台のストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、電源線差込穴に奥まで差し込んでください。(図-1)

⚠警　告　感電・発熱・焼損・火災の原因となります。

- ●電源線皮むき寸法は12mm±1mmで、垂直にカットしてください。
- ●結線は電源線を確実に奥まで差し込んでください。
- ●電源線はまっすぐなφ1.6mm、2.0mm銅単線を使用してください。
- ●曲がった電源及び、より線は使用しないでください。
- ●電源線結線及び器具施工の際は電源線をねじったり回したりしないでください。

4. アース線をアースねじに接続してください。(図-2)
5. 本体を取り付けてください。
本体内面の取付方向に従って本体を取付面に飾りナットB(パッキン付)(2個)で確実に固定してください。
6. ランプをソケットに取り付けてください。
7. グローブの向きを取付方向シールに合わせて、ガードとグローブを組み合わせてください。
ガードの固定ねじ(2本)にカバーの穴を合わせて、飾りナットA(2個)で確実に締め込んでください。
8. 必要に応じて検知エリアを調整してください。

——— テストモード　7ページ

⚠警　告

器具の取り付けは確実に行ってください。
取り付けが不十分ですと落下・感電・火災等の原因となります。

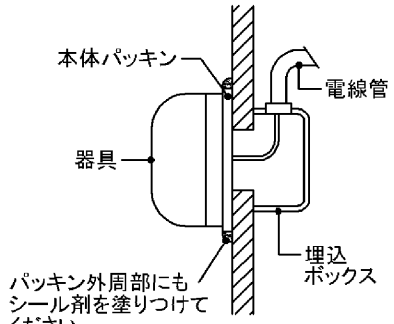
⚠注　意

Hi-マルチセンサー付器具には電球形蛍光灯を使用することはできません。
器具・ランプの故障の原因となります。

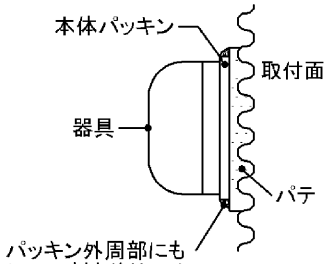
■器具取り付け時の注意事項

⚠ 注 意

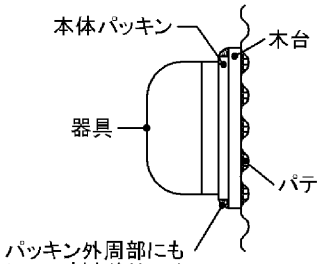
●器具を取り付ける際は、器具取付部の本体パッキンが取付面と器具に、必ず密着するようにしてください。
●防雨形器具は湿気の多い場所では使用できません。
●器具の取付面は、本体パッキンよりも大きくしてください。(第2図・第3図)
●裏面から雨がかかるような取り付けはしないでください。
●取付面に凸凹がある場合は、パテ等で凸凹をなくすか、防水用シール剤等で器具(木台)と取付面のスキマを埋めるようにしてください。(第2図・第3図)
●器具を逆に取り付けますと防水性が損なわれます。正しい向きでご使用ください。
●埋込ボックス等に取り付ける場合は、取付用ねじに金属製のワッシャー等をはめてから器具を取り付けてください。
(ボックス取付用ねじは付属されておりません。)



第1図



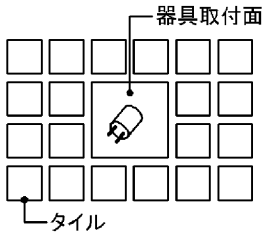
第2図

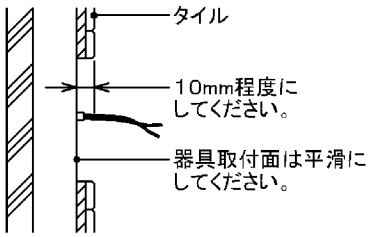


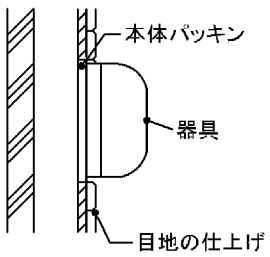
第3図

※「本体パッキンと取付面より外周部にシール剤を塗りつける」または、「本体パッキンと取付面全体をシール剤で塗りつける」などを行い、確実に防水するようにしてください。

●タイルモジュールの場合
①器具の取付面を確保してください。取付面は本体パッキンよりも大きくしてください。
・電源線は中央から正確に出してください。
②器具の取付面を平滑にしてください。
注) 器具の取付面に凸凹がありますと、器具取付部の本体パッキンの防水性が損なわれ感電のおそれがあります。ご注意ください。
③器具の取り付け後、目地部の仕上げをします。
・目地仕上げには、目地用モルタルまたは、市販の防水用シール剤で仕上げてください。漏水の原因にもなりかねませんので、目地仕上げには十分注意してください。

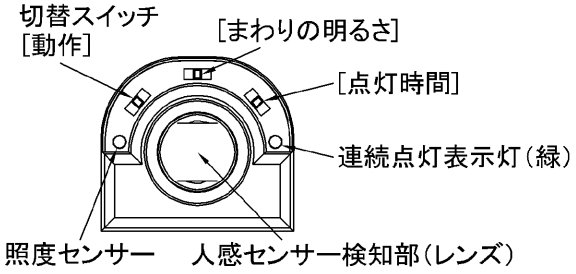


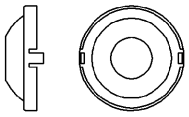




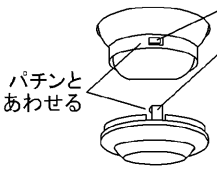
※防水用シール剤はカビの発生防止、耐久性に優れるものをお選びください。

■センサーの名称




エリアカットマスクE
(付属品)

エリアカットマスクEの取り付け・取りはずし方



エリアカットマスクの2本のツメとセンサー感知部のミゾに合わせはめ込んでください。
取りはずす場合は、エリアカットマスクの2本のツメをセンサー感知部のミゾより取りはずしてください。

※エリアカットマスクE(付属品)はセンサーに取り付けて出荷しております。

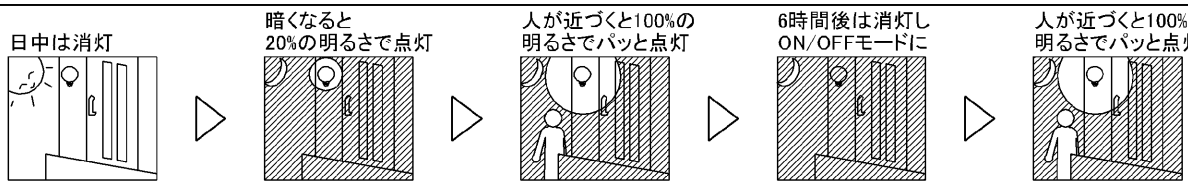
■センサー機能について

●人感センサースイッチの切替スイッチを組み合わせることにより、いろいろなモードに設定できます。
●壁スイッチの操作で連続点灯(8時間)させることができます。

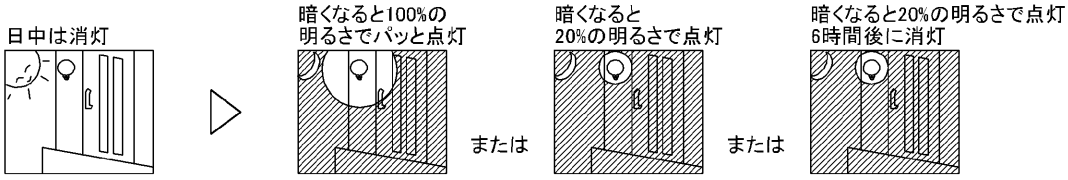
●ON/OFFモード　暗くなって人を検知した時だけ点灯させたい

●調光モード　一晩中ほんのり点灯して人が近づいた時は明るくしたい

●6時間調光モード　一晩中ほんのり点灯はもったいない、でも不用心

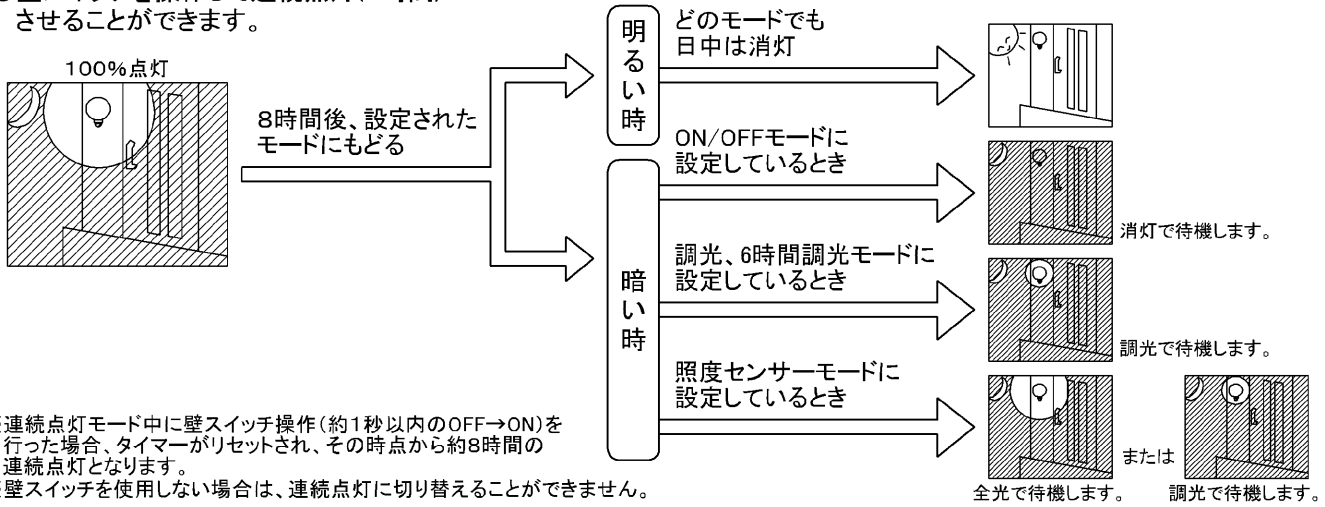


●照度センサーモード　人の検知に関係なく一晩中点灯させたい



●連続点灯　まわりに関係なく点灯させたい

●壁スイッチを操作して連続点灯(8時間)させることができます。



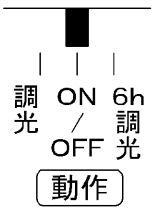
※連続点灯モード中に壁スイッチ操作(約1秒以内のOFF→ON)を行った場合、タイマーがリセットされ、その時点から約8時間の連続点灯となります。
※壁スイッチを使用しない場合は、連続点灯に切り替えることができません。

■設定方法

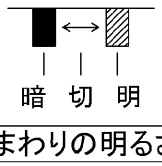
●壁スイッチをONすると約1分間全光点灯します。その後約5秒間消灯してからセンサーが動作します。
●使用中に切替スイッチを切り替えると、約5秒間消灯してから設定状態で動作します。
（連続点灯モードを除く）

●ON/OFFモード

1. [動作]のスイッチを「ON/OFF」に設定してください。

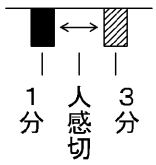


2. [まわりの明るさ]のスイッチを「暗」または「明」に設定してください。



「暗」：約15ルクス以下となると待機状態となります。
「明」：約45ルクス以下となると待機状態となります。

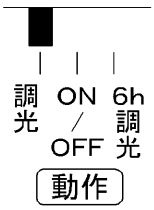
3. [点灯時間]のスイッチを「1分」または「3分」に設定してください。



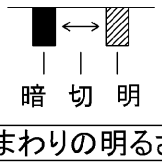
「1分」：約1分間点灯します。
「3分」：約3分間点灯します。
※検知エリアから人が離れたり静止した後の点灯時間です。

●調光モード

1. [動作]のスイッチを「調光」に設定してください。

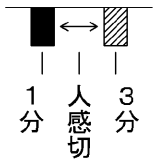


2. [まわりの明るさ]のスイッチを「暗」または「明」に設定してください。



「暗」：約15ルクス以下となると待機状態となります。
「明」：約45ルクス以下となると待機状態となります。

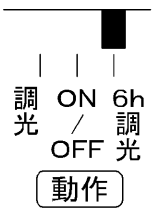
3. [点灯時間]のスイッチを「1分」または「3分」に設定してください。



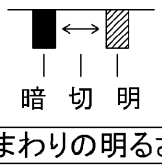
「1分」：約1分間点灯します。
「3分」：約3分間点灯します。
※検知エリアから人が離れたり静止した後の点灯時間です。

●6時間調光モード

1. [動作]のスイッチを「6h調光」に設定してください。

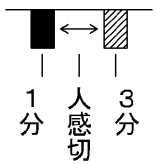


2. [まわりの明るさ]のスイッチを「暗」または「明」に設定してください。



「暗」：約15ルクス以下となると待機状態となります。
「明」：約45ルクス以下となると待機状態となります。

3. [点灯時間]のスイッチを「1分」または「3分」に設定してください。

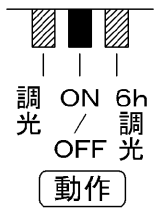


「1分」：約1分間点灯します。
「3分」：約3分間点灯します。
※検知エリアから人が離れたり静止した後の点灯時間です。

●照度センサーモード

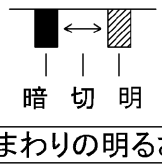
●灯具を真下に向け設置した場合、ランプの光が床面より反射して誤動作(点滅)する場合があります。
設定モードを「調光」にするか、灯具の角度を可動(20° 以上)させてください。

1. [動作]のスイッチを設定してください。



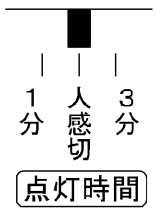
「ON/OFF」：100%の明るさで点灯します。
「調光」：20%の明るさで点灯します。
「6h調光」：6時間、20%の明るさで点灯します。6時間後消灯します。

2. [まわりの明るさ]のスイッチを「暗」または「明」に設定してください。



「暗」：約15ルクス以下となると点灯します。
「明」：約45ルクス以下となると点灯します。

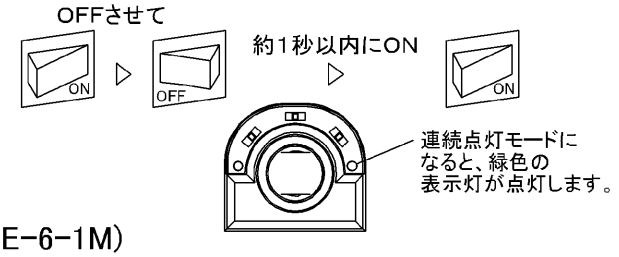
3. [点灯時間]のスイッチを「人感切」に設定してください。



●連続点灯モード

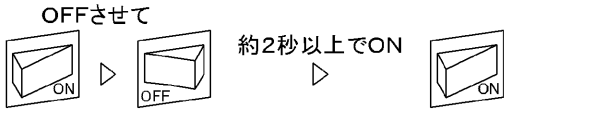
●連続点灯設定方法

1. 壁スイッチを一度OFFさせて
2. 約1秒以内にONにする



●連続点灯設定解除方法

1. 壁スイッチを一度OFFさせて
2. 約2秒以上でONにする



※人感センサースイッチの緑色の表示灯は消灯します。

壁スイッチをONした直後は、約1分間100%点灯します。
約5秒間消灯したあと、センサー待機状態となります。

■設置後検知エリアを決定する

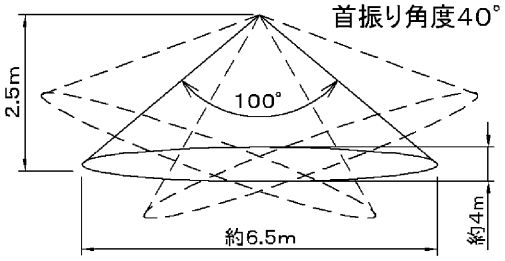
●検知エリアを決定するには「テストモード」で行うと便利です。
「テストモード」は周囲が明るいときでも、人を検知するたびに約5秒間全光点灯します。
器具の周囲を歩き、検知エリアの確認、調整を行ってください。
（「テストモード」への設定は、■設定方法　●テストモード を確認してください。）

1. 切替スイッチを「テストモード」に合わせる。
2. 壁スイッチをONします。
※壁スイッチをONすると、約1分間全光点灯します。その後約5秒間消灯してからセンサーが動作します。
3. 人感センサー検知部を動かして位置を決めてください。

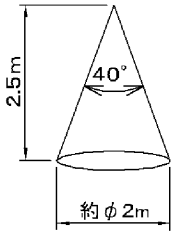
※センサーに向かって人が近づくような位置に検知エリアを設定すると、器具のごく近くまで人が近づかないと検知しない場合があります。

検知エリア

検知エリアは参考値です。
※照明器具の灯具の向きまたはセンサーの向きによっては検知エリアの距離を満足しない場合があります。
※検知エリアは、気象条件などにより差が生じる場合があります。
（特に寒冷地などで、手袋・コートなどの表面温度が低い時、動作しない場合があります。）



エリアカットマスク使用時



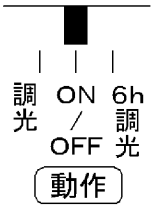
エリアカットマスクを取り付けることにより検知エリアをせまくすることができます。

■設定方法

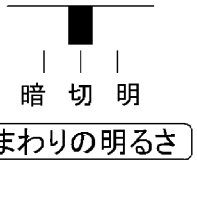
●テストモード　周囲の明るさに関係なく人を検知すると5秒間点灯します

※出荷時は、テストモードに設定されています。

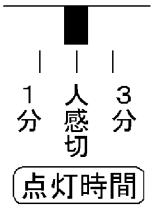
1. [動作]のスイッチを「ON/OFF」に設定してください。



2. [まわりの明るさ]のスイッチを「切」に設定してください。

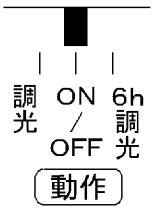


3. [点灯時間]のスイッチを「人感切」に設定してください。

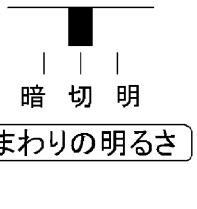


●人感センサーモード　周囲の明るさに関係なく人を検知すると点灯します

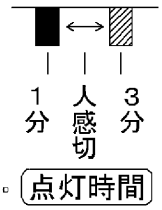
1. [動作]のスイッチを「ON/OFF」に設定してください。



2. [まわりの明るさ]のスイッチを「切」に設定してください。



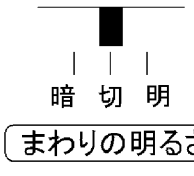
3. [点灯時間]のスイッチを「1分」または「3分」に設定してください。



「1分」：約1分間点灯します。
「3分」：約3分間点灯します。
※検知エリアから人が離れたり静止した後の点灯時間です。

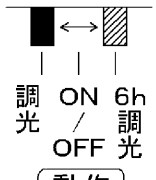
※下記スイッチの組み合わせでは動作しません

●下記のような切替スイッチの組み合わせとすると、照明器具のランプが約0.5秒間隔で点滅します。設定を変更してください。

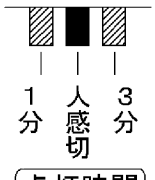


1. [まわりの明るさ]のスイッチを「切」に設定する

▷



2. [動作]のスイッチを「調光」または「6h調光」に設定した場合



3. [点灯時間]のスイッチはどの位置でも変わりません

■故障かな？と思ったら

■センサーの動作が故障かな？と思ったら下記を参照に点検を行ってください。

現象	考えられる原因	処置方法
周囲が暗くなっても点灯しない。	電源接続が正しく行われていない。	電源を正しく接続してください。 (お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。)
	壁スイッチ(電源)がOFFになっている。	壁スイッチ(電源)をONにしてください。
	壁スイッチが故障している。	壁スイッチを交換してください。(工事店等に依頼してください。)
	ランプが切れている。	壁スイッチをOFFにしてからランプを交換してください。
	[まわりの明るさ]スイッチが「切」になっている。	[まわりの明るさ]スイッチを「暗」または「明」に設定してください。P7
	センサーに周りの光が入っている。	光が入らないようにしてください。※4
	センサーが故障している。	センサーを交換してください。 (お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。)
	タイマー回路等に接続されている。	タイマーが優先になっていると点灯しない場合があります。
人が近づいても点灯しない。	電源接続が正しく行われていない。	電源を正しく接続してください。 (お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。)
	壁スイッチ(電源)がOFFになっている。	壁スイッチ(電源)をONにしてください。
	壁スイッチが故障している。	壁スイッチを交換してください。(工事店に依頼してください。)
	ランプが切れている。	壁スイッチをOFFにしてからランプを交換してください。
	厚手の服を着ている。傘をさしている。	熱量を検知するためコート等を着込んでいたり、傘をさしていると体温が検知されず反応しない場合があります。※1
	[点灯時間]スイッチが「人感切」になっている。	スイッチの設定を変えてください。P7
	人感センサーの検知部の表面に汚れが付着している。	水で固く絞った柔らかな布で軽く人感センサー検知部の汚れを落としてください。
	検知エリアに人が入っていない。	検知エリアの確認、調整を行ってください。P6
	照度検知に対し、周りが明るすぎる。	設定されたモードより暗くなると人感センサーが動作します。P7
	タイマー回路等に接続されている。	タイマーが優先になっていると点灯しない場合があります。
点灯したままで消灯しない。	連続点灯モードになっている。(緑の表示灯が点灯している)	センサーモードに戻してください。P7
	電源の瞬時停電でセンサーが連続点灯モードになっている。	電源の瞬時停電があると、連続点灯モードになる場合があります。P7
	[点灯時間]スイッチが「人感切」になっている。	照度センサーモードになっています。スイッチの設定を変えてください。P7
	検知エリアに熱源がある。	検知エリアから熱源を取り除いてください。※1
	検知エリア内に、常に人感センサーに反応するものがある。	検知エリアから反応するものを取り除いてください。※2
		まわりが明るくなっても、人感センサーが動作して点灯している間は、照度センサーが動作しないため、消灯しません。※2
	激しい雨が降っている。	人感センサー検知部についた水滴を検知して点灯する場合があります。※1
	検知エリアに木や池の水面などがあり、風でこれらのものが動くと検知する場合がある。	検知エリアの調整をしてください。※1
	調光、6h調光モードになっている。	[動作]スイッチを確認してください。P7 調光、6h調光モードは約20%の明るさで点灯します。
	センサーが故障している。	センサーを交換してください。 (お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。)
人が近づかなくても点灯する。	照度センサーモードで、周囲が暗くなった。	照度センサーモードは周囲が設定より暗くなると点灯します。
	検知エリア内にペットなどの動物がいる。	ペットなどの動物にも人感センサーは反応します。※1
	激しい雨が降っている。	人感センサー検知部についた水滴を検知して点灯する場合があります。※1
	検知エリアに木や池の水面などがあり、風でこれらのものが動くと検知する場合がある。	検知エリアの調整をしてください。※1
	検知エリア内を車などが通る。	車の通りが激しいところでは誤作動しますので、検知エリアの調整を行ってください。※1
	検知エリアに熱源がある。	検知エリアから熱源を取り除いてください。※1
	電源電圧の一時的で急激な変動があった。	※3
	センサーが故障している。	センサーを交換してください。 (お買い求めの販売店・工事店等に交換をご依頼ください。)
ランプが短寿命である。	白熱ランプのランプ不良の場合がある。	壁スイッチをOFFにしてからランプを交換してください。
	電源電圧が高めである。	電圧が高いとランプ寿命が短くなります。白熱電球は110Vのランプを使用することをおすすめします。
	振動が多い場所に取り付けてある。	振動でランプが切れる場合があります。 振動がない場所に取り付けてください。
	他社製ランプで器具に適合していない。	当社指定ランプをご使用ください。
	電球形蛍光ランプ・LEDランプを使用している。	器具に適合する白熱電球に交換してください。
明るさに関係なく人に反応し点灯する。	[まわりの明るさ]スイッチが「切」になっている。	[まわりの明るさ]スイッチを「暗」または「明」に設定してください。P7
	まわりの明るさが急に明るくなった。 黒い布などでセンサーを覆っていたものを取り除いた。	照度センサーがまわりの明るさを検知し、待機状態を解除するまでに数分間かかる場合があります。
明るさに関係なく点き放しになる。	誤った壁スイッチ操作や瞬間的な停電などで連続点灯モードになっている。(緑色の表示灯が点灯している。)	壁スイッチを2秒以上OFFにしてから再びONしてください。 設置されているセンサーのモードに戻ります。P7
検知エリアに人がいるのにランプが消える。	ランプが切れた。	壁スイッチをOFFしてからランプを交換してください。
	検知エリア内で動かなくなった。	検知エリア内に人がいても、動きがない場合には人感センサーが検知しないためランプが消えます。 動くと人感センサーが検知しランプが点灯します。
	センサーの電源を都度、入り切りしている。	電源ON直後はセンサー内のマイコンが調整を行ってしまいますので、1度ランプが点灯し消灯して待機状態となります。※3
	[点灯時間]スイッチが「人感切」になっている。	明るくなると消灯します。スイッチの設定を変えてください。P7
ランプが点滅する。	センサーの切り替えスイッチが設定されていない位置となっている。	切替スイッチの位置を変更してください、P6, 7
	ランプの光を照度センサーが検知してしまっている。	器具設置場所を変更してください。※4

■故障かな？と思ったら（つづき）

※1 人感センサーは赤外線検知方式となっています。これは検知エリア内の熱変化(温度変化)を検知する方式です。このため、検知エリア内でのペット等の動物の動きにも反応します。また、木や池等の水面が風等で動いた場合や、雨等の水滴が人感センサー検知部に付着した場合や、水滴が人感センサー前面を動いても反応することがあります。また冬季に厚手の服を着ている場合、体温が服の内部に閉じ込められて、服の表面温度が外気と差が無いために、人感センサーが反応しないことがあります。

※2 このセンサーは、照度センサーと人感センサーが複合しています。点灯は照度センサーが優先され、消灯は人感センサーが優先されます。通常は周囲が暗くなり照度センサーが検知状態となってから人感センサーが動作します。人感センサーが検知して全光点灯状態のときは照度センサーは動作しません。この機能のため、周囲が暗い状態で人感センサーが動作し、検知し続けることにより点灯を維持すると、周囲が明るくなってもランプは点灯したままとなります。

※3 電源投入直後は約1分間ランプ点灯状態となりセンサー内のマイコン調整を行います。マイコン調整が終了するとセンサーは約5秒間消灯してからセンサー待機状態となります。

※4 反射が強い床面や壁面に取り付けると、ランプの光が反射して、照度センサーが明るくなったと検知して消灯し、消灯後暗くなったと検知して再び点灯するといった点滅状態となる場合があります。(点灯間隔は約5分) この場合、ランプ照射部分が可動できるものは床面や壁面を照らさない方向に可動させてください。その他の器具は、器具の設置位置を変更するか、床面や壁面が反射しないような措置が必要となります。

■お手入れのしかた

⚠注 意	お手入れの際は必ず電源スイッチを切ってください。感電の原因となります。

●器具を清掃する際は、乾いたやわらかい布か、水で浸したやわらかい布をよく絞ってからふいてください。
●ランプを清掃する際は、ランプを器具からはずして乾いた布でふいてください。

⚠警 告	⚠注 意
●器具に直接水を勢いよくかけて洗わないでください。 水気の浸入による器具の破損、感電などの原因となります。	●器具をいためますので、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

⚠安全に関するご注意

●照明器具には寿命があります。
●設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C8105-1解説による。)
●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
●年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。
●3年に1度は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
●点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

■保証とアフターサービス

保証について
・保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。但し、LED器具の点灯装置、蛍光灯器具・HID器具の安定器(インバータバラスト含む)については3年間です。
・ランプ(LED電球やLEDユニットフラット形を含む)、点灯管、電池などの消耗品やセード、リモコン送信器は対象外です。
・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
・取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。

修理を依頼されるとき
・保証期間中は、お買い上げ日を特定できるものを添えてお買い上げの販売店(工事店)までお申し出ください。
・保証期間を過ぎている時はお買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
・アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または東芝ライテック照明ご相談センターにお問い合わせください。その際は器具の形名、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

保証の免責事項
1.保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(2)お買い上げ後の取り付け場所移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
(3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
(4)車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
(5)施工上の不備に起因する故障や不具合
(6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
(7)日本国内以外での使用による故障及び損傷
2.離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

部品について
・修理のため取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
・修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
・補修用性能部品の保有期間
弊社は、この照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。(セード・グローブなどは含まれません。)

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は
お買い上げの販売店にご相談ください。
販売店にご相談できない場合は、下記窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター
0120-66-1048 (通話料：無料)
受付時間：365日 9：00～20：00
携帯電話・PHSなど 046-862-2772(通話料：有料)
FAX 0570-000-661(通話料：有料)

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

日本国内専用
Use only in Japan

東芝ライテック株式会社 器具事業部 〒237-8510 神奈川県横須賀市船越町1-201-1 TEL(046)862-2103 FAX(046)861-8776

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。